

ホブソン（合信）の医学新語 —「俗」と注釈された語彙について—

藤本健一（順天堂大学助教）

ホブソン（Benjamin Hobson, 中国名：合信, 1816-1873）の訳著《全體新論》（1851）には、30箇所あまりにおいて、直前の用語、概念に対して“俗曰”“又名”“俗名”“亦名”“俗云”“或曰”“俗之”“俗所謂”“一曰”などと注釈するとともに同義語や説明を加えている。そこで提示された語がどのような特性を持つのか、この言い換えとも取れる表現は新語であるのか、見ていきたい。以下にその全例を挙げる。

- (1) 人身肥網膜下有動肉【或曰肌，即字典所謂附骨之肉】數層（乾・一）
- (2) 凡遇兩骨對合之處俱有墊膈，質韌而滑，俗名脆骨（乾・一）
- (3) 與蝴蝶骨相連，當中近鼻脊處【即俗之印堂】稍厚（乾・三）
- (4) 左肩膊後下，附於脇骨之外，有肩[骨甲]骨者，即俗所謂飯匙骨也（乾・八）
- (5) 左右上臂骨各一枚，古名臑骨，亦名肱骨（乾・八）
- (6) 左右正肘骨各一枚，又名下臂骨（乾・八）
- (7) 尾間骨又名脊骨（乾・十）
- (8) 大腿骨左右一枚，古名太榿骨，俗名大髀骨（乾・十）
- (9) 下端前向外略圓滑為臙骨【俗名膝蓋骨】依附之處（乾・十一）
- (10) 脛骨左右各二枚，大者名小腿骨，小者名輔腿骨，又名勞堂骨（乾・十一）
- (11) 以接輔腿骨上端……外後兩面則厚肉【俗云腳囊肉】裹之，下端之底有橫窩，窩之內有骨尖垂下【俗曰內腳眼】，窩之外有一骨路以容輔腿骨下端【即外腳眼處】（乾・十一）
- (12) 下有窩與踴骨相啣【踴骨又名腳跟骨，蓋與腳囊肉之大根相繫故名】（乾・十一）
- (13) 上帝【即造化之大主】分設日夜（乾・十四）
- (14) 眼胞 胞為目外之簾，俗名眼蓋（乾・二十二）
- (15) 兩胞頭尾曰目眦，俗名眼角（乾・二十三）
- (16) 隔簾【即俗所謂瞳人】（乾・二十四）
- (17) 珠質若變或黃或白【即俗悞稱綠水灌瞳神之症】必須用鍼以撥之（乾・二十五）
- (18) 目系俗曰目根（乾・二十六）
- (19) 門牙始出，行年三歲共有二十齒，俗名乳牙（坤・五）
- (20) 胃之本熱【俗曰胃火】與他臟同（坤・七）
- (21) 牛羊麋鹿食草之獸，腹有四脰【亦曰臄，食草獸胃也】（坤・九）
- (22) 即有疸病【俗曰黃症】（坤・十一）
- (23) 醫士知其血少罔救，嘗用機巧水箭【俗曰水櫛】借取壯人之血（坤・十五）
- (24) 故屏息少頃，即怫鬱不安，長噓乃定【即俗云抖大氣】（坤・二十）
- (25) 外腎俗曰卵子【粵東土語曰春子】（坤・廿七）
- (26) 初與男子交合，膜破微有血出，故俗曰破身（坤・廿八）
- (27) 胎盤，一曰胞衣，俗曰胎衣（坤・卅一）

そのうち、新語と見られる語は下表の通りである。

		同義 詞	《醫學英 華字釋》 (1858)	《漢語大詞典》	《四庫全書・子 部・醫家類》	《醫宗金鑒》 (1749)
(1)	動肉		x	x	?	x
(3)	鼻脊處		x	x	x (鼻脊)	x
(4)	飯匙骨	○	○	x	x	x
(5)	上臂骨		○	x	x (臂骨)	x (臂骨)
(5)	肱骨	○	x	?【肱骨】人体上肢最大的 长骨，上端与肩部相连， 下端与尺骨和桡骨相连。	x	x
(6)	正肘骨		○	x	x (肘骨)	x (肘骨)
(6)	下臂骨	○	x	x	x (臂骨)	x (臂骨)
(8)	太槌骨		x	x【槌骨】	x	?大槌骨
(8)	大髀骨	○	x	x【髀骨】	x (髀骨)	x (髀骨)
(10)	輔腿骨		○	x	x (辅骨)	x (輔骨)
(11)	脚囊肉	○	x	x	x	x
(11)	内脚眼	○	x	x	x	x
(12)	踭骨		x	x	x	x
(12)	脚跟骨	○	x	x【脚跟】亦作“腳根”。	x (脚跟)	x (脚跟)
(14)	眼蓋	○	○	x	x	x
(16)	隔簾		x (眼隔 簾, 眼 簾)	x【眼簾】	?	x
(18)	目根	○	x	x	x	x
(19)	乳牙	○	○	?【乳牙】又称乳齒。人和 多数哺乳动物幼年期所生 的牙齿。如人的乳牙在婴 儿出生后 6—9 个月之间开 始生长，共 20 个。6—7 岁 乳牙开始逐渐脱落，换生 恒牙。通称奶牙。	x	x
(23)	機巧水 笛		(機笛)	x【機巧】【水笛】	x	x
(23)	水櫛	○	x	x	x	x
(24)	抖大氣	○	x	x	x	x

(27)	胎盤		○	?【胎盤】介于母体的子宫内壁和胎儿之间的圆饼状组织，通过脐带和胎儿相连，是胎儿和母体的主要联系物。	x	x
------	----	--	---	---	---	---

そして、既存語を活用したと推測できるのは次の通りである。

		同義詞	《醫學英華字釋》 (1858)	《漢語大詞典》	《四庫全書・子部・醫家類》	《醫宗金鑑》 (1749)
(2)	脆骨	○	○	○	○《普濟方》	○
(3)	印堂	○	x	○	○《普濟方》	○
(4)	肩[骨甲]骨		?肩胛	?【肩胛】亦作“肩甲”。1.肩膀。《素問・藏氣法時論》：“心病者……膺背肩甲間痛。”《靈樞經・經筋》：“手太陽之筋……其支者，後走腋後廉，上繞肩胛，循頸出走太陽之前，結於耳後完骨。”	?	?肩胛骨，肩[骨甲]
(5)	臍骨		x	x	○《醫旨緒余》	○
(7)	尾閭骨		○	x【尾閭】	○《普濟方》	○
(7)	脊骨	○	○	○	○《普濟方》	○
(8)	大腿骨		○	x【大腿】	x（腿骨）	○
(9)	臏骨		x	?【臏骨】膝蓋部的一块骨，略呈三角形，尖端向下。也叫膝蓋骨。	《備急千金要方》	○
(9)	膝蓋骨	○	○	○	○《醫旨緒余》	○
(10)	勞堂骨	○	x	x	x	○
(14)	眼胞		○	○	○《普濟方》	○
(15)	目眚		x	○	x	○
(15)	眼角	○	x	○	○《普濟方》	○
(16)	瞳人	○	○	○	○《普濟方》	○
(17)	綠水	○	x	x	○《普濟方》	x
(17)	瞳神	○	x	○	○《續名醫類案》	○

(18)	目系		(眼系)	x	○《普济方》	○
(20)	胃火	○	x(胃炎)	x	○《续名医类案》	○
(22)	痘病		x	x	○《普济方》	○
(22)	黄症	○	x	○	○《名医类案》	x
(25)	外腎		○	○	○《普济方》	○
(25)	卵子	○	x	○	?《本草乘雅半偈》	x
(25)	春子	○	x	x	?	x
(26)	破身	○	x	○	x	x
(27)	胞衣	○	x	○	○《普济方》	○
(27)	胎衣	○	x	○	○《普济方》	○

*参考文献

- 合信 1851?《全體新論》(『幕末期医学書復刻 第2期 ホブソンの医学書』1986年、冬至書房)
- 吉田寅 1986「宣教医ホブソン(合信)の医学書解説 中国医療伝道とホブソンの中国語医学書」『幕末期医学書復刻 第2期 ホブソンの医学書』
- 赵璞珊 1991〈合信《西医五种》及在华影响〉《近代史研究》1991(02)
- 沈国威 2000「『泰西人身説概』(1623)から『全体新論』(1851)まで—西洋医学用語の成立について」『関西大学中国文学会紀要』(21)
- 牛亚华 2005〈中日接受西方解剖学之比较研究〉(西北大学博士論文)
- 松本秀士 2006「ホブソン(合信)にみる解剖学的語彙について」『或問』101
- 松本秀士、坂井建雄 2009「『全体新論』に掲載される解剖図の出典について」『日本医史学雑誌』
- 孙琢 2010〈近代医学术语的创立—以合信及其《医学英华字释》为中心〉《自然科学史研究》2010(04)
- 陳萬成 2011〈《全體新論》的撰譯與早期版本〉《中國典籍與文化論叢》第13輯「四庫全書」(電子版)文淵閣